

令和8年 第5回（9月）志免町議会定例会一般質問通告書

通 告 順

番 号	質問者	質問時間	件 名	要 旨	具 体 的 質 問 内 容	質問の相手	備 考
1	藤 瀬 康 司	3 0 分	1. 大規模地震に備えた防災体制について	(1) 今回の熊本地震を受け、被災地では避難所で生活する方だけでなく、断水等が続く中、自宅で避難生活を送る「在宅避難者」への支援も大きな課題となっている。私自身、被災地で飲料水等を各家庭へ届ける「ラストワンマイル」のボランティア活動に参加し、避難所への支援だけでなく、在宅避難者の把握、安否確認、物資を最後まで届ける体制の重要性を改めて感じた。今回の地震を教訓として、本町における大規模地震への備えについて伺う。	①熊本地震への本町の対応について i 今回の熊本地震に対し、本町は人的支援、物資支援、義援金等を含め、どのような支援を行ったのか。 ii 今回の地震を受け、本町の地域防災計画や避難所運営体制について、点検・検証を行ったのか。 ②大規模地震発生時の避難所機能について i 大規模地震により停電、断水、通信障害等が発生した場合、指定避難所の機能をどの程度維持できると想定しているのか。 ii 体育館等に整備された空調設備は、停電時にも使用できるのか。また、非常用発電機や蓄電池等の整備状況、稼働可能時間はどうなっているのか。 iii 食料、飲料水、毛布、衛生用品、生理用品、乳幼児用品等について、現在の想定避難者数に対して十分な備蓄量を確保しているのか。 ③災害時のトイレ対策について i 大規模地震による断水や下水道施設の被害により、指定避難所の水洗トイレが使用できなくなった場合、どのような対応を想定しているのか。 ii 携帯トイレ、簡易トイレ、仮設トイレ等について、想定避難者数に対して何人分・何日分を確保しているのか。 iii 高齢者、障がい者、子ども等にも配慮した災害時のトイレ環境をどのように確保するのか。 iv 断水した避難所や被災地域へ機動的に配置できる「トイレカー」は、避難所だけでなく在宅避難者への支援にも活用できると考える。本町において、トイレカーを導入する考えはないか。 v 単独での導入だけでなく、近隣自治体との共同導入や災害時の相互応援協定等により、必要な地域へトイレカーを派遣できる体制を構築する考えはないか。 ④災害時の通信環境について i 指定避難所における Wi-Fi 環境の整備状況はどうなっているのか。 ii Shime Free Wi-Fi は、大規模停電時にも利用可能なのか。 iii 停電や通信障害によって通常の通信網が使用できない場合、町と各避難所との通信手段をどのように確保するのか。 iv 衛星通信等、通常の通信網に依存しない代替通信手段を確保する考えはないか。 ⑤ペット同行・同伴避難について i ペットと避難できる避難所の受入体制はどのようなになっているのか。 ii ペット避難所では、飼い主とペットがどのような環境で避難生活を送ることになるのか。 iii ペット避難所が被災等により使用できない場合の代替施設は確保されているのか。	町 長	

				(3) 災害発生後の町の支援体制	⑤公共施設に自家発電機は、どのくらい完備されているか。 ①災害ごみ置き場について。 ②生活用水(例えば井戸水協力体制など)対策は。 ③しばらくの間の被災者受け入れ体制(避難先や居住場所)の備えは。 ④災害発生時の町内会と消防団との連携体制はできているか。 ⑤災害発生後の支援協力体制は、どのようになっているか。(例えば町と町内会、町内会と各消防分団、地域ぐるみの助け合いなど)		
3	丸山真智子	30分	1. 防災・減災対策について	(1) 令和8年熊本地震、千葉豪雨また糸島、関東地方でも地震が起き、災害等続いている。さまざまな対策について問います。	①熊本地震被災地の避難所の報道を見ると、体育館等に区切りもなく雑魚寝状態が映し出されているが、志免町で避難した場合には、ベッドや仕切り(防災テント)の準備はできプライバシーは守れるのか。 ②住宅の耐震化率はどれくらいか。(令和4年8月現在は耐震化率64.2%)。これまで、耐震化を進めるために耐震改修工事については補助率を上げるべきではと質問してきたが、追加で補助金総額も増額し、耐震化を進めるべきでは。 ③家具転倒防止について、家具販売店や電器店との協力で普及させたらどうかと令和6年6月議会で質問していたが、どうなったのか。 ④災害時の食は大事。「備えない防災(フェーズフリー)」という考え方もある。家庭の常備品活用でポリ袋利用の防災食づくりなどの講座を開催し、自主防災組織に案内を出すなど普及に努めるべきでは。 また、キッチンカーとの協定をむすんでいるのか。 ⑤生活に欠かせないインフラである水道施設の耐震化の状況は。 貯水、浄水、配水施設の耐震状況。管路の耐震化では重要施設(災害拠点病院や避難所)へつながる管路を優先的に強化しているのか、また基幹管路の耐震適合率は。今後は。 ⑥千葉豪雨では内水氾濫が起きているが、志免町の対策はどこまで進んでいるのか。対策を加速する必要がある。 ⑦道路冠水が起きた場合は、役場はどのような対応するのか。10cm以上冠水した場合は車のブレーキが利かなくなるがその周知は。 ⑧災害時受援計画はあるのか。 ⑨緊急輸送道路とは。第1次、第2次、第3次の指定はあるのか。整備促進は。 ⑩自主防災組織が機能するためにも実態把握が必要ではないのか。配布された防災備品の現状など。公民館役員研修のテーマを地域防災にするなど工夫をしたらどうか。 ⑪災害時の避難行動支援者の台帳が活用できているか把握していない(6月議会答弁)とのことだが、登録者の期待に反するのではないか。努力義務である個別計画の策定は。 ⑫住民の協力でできることのひとつである雨水貯留タンクと雨庭の周知、普及を。補助している自治体もある。	町長	

			2. 不要衣料の回収について	(1) 環境省が家庭で不要になった衣類の回収を自治体に促すため指針を策定する。	⑬災害が起こってからの「アフター」(後)ではなく、「ビフォー」(前)が重要。行政が準備するところはしっかり行い、今一度、自助・共助(地域コミュニティ)・公助の意識向上を行う必要があるのではないか。 ①資源回収での不要衣料回収の状況は。増やすために、紙類のように補助したらどうか。	町 長	
4	小 森 弘 美	3 0 分	1. 見守りボランティアの安全確保と持続可能な通学路防犯体制について 2. すべての町民に優しいユニバーサルデザインの庁舎へ	(1) 熱中症リスクに対する見守り活動者の安全管理・熱中症対策について (2) 見守り活動中の事故に対する補償制度について (3) 持続可能な見守り体制の構築と担い手確保について (1) 本庁舎長寿命化改修における「搾乳環境(搾乳室)」の整備について	本町の通学路では、地域のボランティアの方々や高齢者の方々が、子どもたちの登下校の安全を守るために、街頭に立ち続けてくださっている。しかしながら、数名の町内会長より「この猛暑日にボランティアの方々の善意と熱意に頼り切っ ていては、いつ命に関わる事故が起きてもおかしくない」との懸念の声を聞いている。そこで、子どもたちの安全確保と、見守り活動者の安心・健康の両立について町の見解を伺う。 ①見守り活動者に対する熱中症対策の現状把握と取組みはできているか。 ②安全確保に向けたガイドラインの作成や周知はなされているか。 ①見守り中に熱中症等で倒れたりした場合の補償制度は整備されているか。 ②どのような保険や補償の仕組みが用意されているのか。適用範囲について伺う。 ①今後の見守りの担い手確保や、高齢者だけに負担を集中させない持続可能な見守り体制の構築に向けて、どのような方策を考えているか町の見解を伺う。 ②AI 見守りカメラや通学路防犯カメラ等の積極的な導入は考えているか。 ③保護者との連携、有償ボランティア制度の検討など、先進自治体の事例を参考にし、町内会や見守り活動者の負担を軽減する必要があると考えるが、町の見解を伺う。 本庁舎は、令和 11 年度から令和 12 年度にかけて、予算総額 21 億 5,940 万円を見込む長寿命化改修が計画されている。その第一歩として令和 8 年度および令和 9 年度の 2 か年において、それぞれ 3,300 万円、計 6,600 万円の予算を計上し、「基本構想・基本計画・実施設計」の策定が進められる。長寿命化改修の事業費には機能向上改修は含まれないが、30 年、50 年先を見据え、町民の誰もが利用しやすく、また子育て世代や働く女性にも配慮した「ユニバーサルデザインの庁舎」へと生まれ変わらせる絶好の機会であると考え る。そこで、本庁舎長寿命化改修における町の見解を伺う。 ①これから策定する基本構想および基本計画において、ユニバーサルデザインの視点はどのように位置づけられているのか。 ②福岡県において、ユニバーサルデザインの推進や女性の就労・子育て支援の一環として、公共施設等へ搾乳環境の整備を各自治体に働きか	町 教 育 長	町 長

